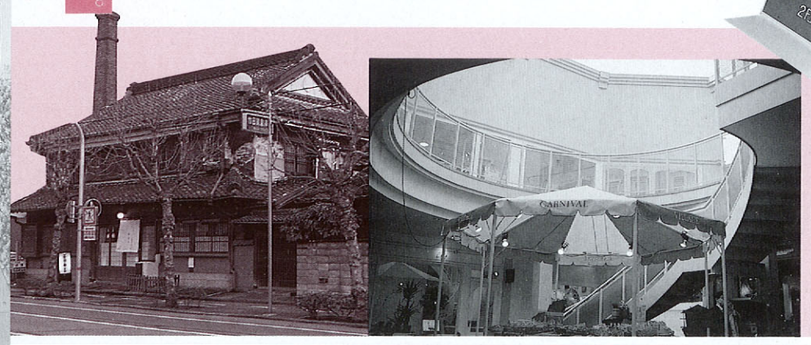
今、熊本の街がおもしろい！
古い歴史を刻む熊本城のおひざもと、
ここ熊本市の繁華街で、
新しい街文化が
息づき始めているようです。

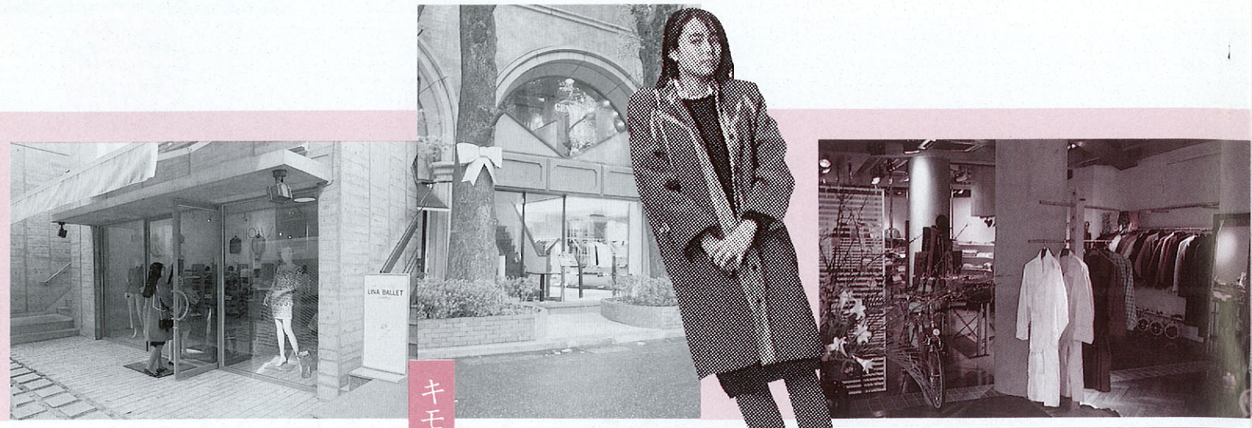
裏通りから始まった おしゃれな街文化。

ママさん特派員 森田 理恵さん

ショーウィンドウは、時代の空気を写す魔法の鏡

古さと新しさが同居する通り。それが、イマっぽい。





上通り、下通り、そしてサンロード新市街に通じるアーケードが日本一長いのは知っていました。下通りの一部のアーケードが高くて明るいものに代わり、街のにぎわいも一段と増したようです。でも熊本の新しい表情は裏通りにありました。

オークス通り。ホテルキャッスルの裏手にある楠並木。ここに有名デザイナーズブランドの店などが並び、緑あふれる趣きある落ちつきを見せます。

手取神社界わいには、最近新しいビルが誕生。現代的なおしゃれな店と神社がなぜか合って不思議な空間です。

プールスコート通り。一番なじみがないかもしれません。以前は寿通りと呼ばれた所で、下通りから折れた、四つ目まんじゅう屋さんのある通りです。近年、四軒のビルが次々に建ち、ブティック等ファッショナブルな店が登場、突然おしゃれな通りとなりました。ちょうどデザインコミッティと弥して、ここの「モアーズ2」ビル内のデザイン事務所で、東京から残る街であってほしいな、なんて考えながら話をお聞きしました。

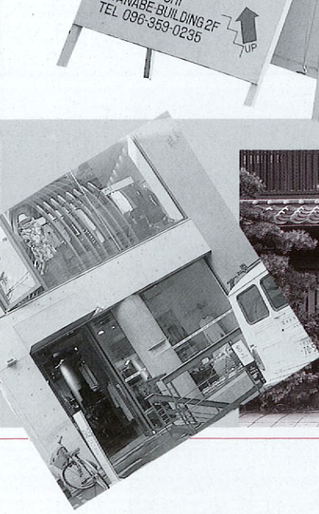
ところで、下通りの先に、アーケードが途切れるためにその名がついたという〝**シャワー通り**〟があります。ここでは今、商店組合を作り、道路の改修、街路灯の設置など通りを改造する計画があるということです。裏通り文化に行政も一役かって、どんな通りに変身するのでしょうか。楽しみです。

「この通りは、通り抜けより、目的意識をもって来られるお客さんが多いですね。熊本は、〝衣〟の方は充実してきたのですが、〝食〟〝住〟がまだまだ……」とおっしゃるのは、ボルボス社長の坂本さん。シャワー通りが個性をもっておしゃれに生まれ変わるのも間近のようです。

県は「熊本県景観条例」を制定、熊本にふさわしい街づくりをめざしています。店内に商品が素敵に並べてあるだけでなく、そこに集まる人々の心の通う街づくり、緑豊かな、街のシンボル熊本城と調和した街づくりができたらと思います。

いろんな通りを歩きながら、ふと気がつくと、ショーウィンドウに少しだけ背を伸ばして歩いている私が映っていました。

キモチが、透明になる。

すうーっと、景色に溶けてゆく。

住みなれた町に、暮らしのやさしい息づかい